

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公表番号】特表 2004-518991(P2004-518991A)
 【公表日】平成 16 年 6 月 24 日 (2004.6.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-024
 【出願番号】特願 2002-534871(P2002-534871)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

C 0 8 L 67/02

G 0 2 B 1/04

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 15 日 (2007.1.15)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 連続相および分散相を含み、

前記連続相および分散相の少なくとも 1 相が、相互反応してコポリマーを生成することができる第 1 のホモポリマーおよび第 2 のホモポリマーのブレンドを含む偏光子。

【請求項 2】 前記第 1 のホモポリマーおよび第 2 のホモポリマーが反応して約 70 % 未満のランダム度を有するコポリマーを生ずる、請求項 1 に記載の偏光子。

【請求項 3】 連続相および分散相を含み、

前記連続相および分散相の少なくとも 1 相が、PEN ホモポリマーおよび PET ホモポリマーのブレンドから形成される第 1 のコポリマーを含み、前記コポリマーが約 75 % と 50 % との間のモル % の NDC 組成を有し、前記コポリマーの固有粘度が同一の比の同一のモノマーを有するがホモポリマーから生成されるわけではない第 2 のコポリマーから得ることが可能な固有粘度より高い光学体。

【請求項 4】 前記コポリマーが約 70 % 未満のランダム度を有する請求項 3 に記載の光学体。

【請求項 5】 連続相および分散相を含み、

前記連続相および分散相の少なくとも 1 相が、少なくとも第 1 のモノマーおよび第 2 のモノマーからなる第 1 のコポリマーを含み、前記第 1 のコポリマーにおける前記第 1 のモノマーの数平均序列長さが、前記第 1 のコポリマーと同一のモノマーおよびモノマーの比に基づく第 2 の統計的にランダムなコポリマーにおける前記第 1 のモノマーの数平均序列長さより長い光学体。

【請求項 6】 前記第 1 のコポリマーにおける前記第 2 のモノマーの数平均序列長さが、前記第 2 のコポリマーにおける前記第 2 のモノマーの数平均序列長さより長い請求項 5 に記載の光学体。

【請求項 7】 前記第 1 のコポリマーが前記連続相に対応する請求項 5 に記載の光学体。